

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】 特開 2000-267828 (P2000-267828A)
 【公開日】 平成 12 年 9 月 29 日 (2000.9.29)
 【出願番号】 特願 平 11-74676
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 B

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 12 月 27 日 (2005.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信媒体を介して外部装置から受信するジョブを解析して印刷部が印刷可能な印刷データを生成する印刷制御装置であって、

前記ジョブの実行に伴い変動する前記印刷部の管理情報を記憶する記憶手段と、

前記印刷データの生成前に、前記ジョブを特定するためのジョブ情報を前記外部装置から取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記ジョブ情報と前記管理情報とに基づき受信すべきジョブの実行に関して問題があるかどうかを予測判定する第 1 の判定手段と、

前記第 1 の判定手段により実行に関して問題ありと予測判定された場合に、予測判定結果に従うメッセージを前記ジョブ情報を取得した前記外部装置に送信する送信手段と、

前記送信手段による前記メッセージの送信後に、前記外部装置からの要求が続行指示かどうかを判定する第 2 の判定手段と、

前記第 2 の判定手段により前記外部装置からの要求が続行指示であると判定した場合に、前記管理情報を更新して前記ジョブを受信するようにジョブ処理を制御する制御手段と、

、

を有することを特徴とする印刷制御装置。

【請求項 2】 前記制御手段は、前記第 2 の判定手段により前記外部装置からの要求が続行指示でないと判定した場合に、前記取得手段により取得された前記ジョブ情報を削除することを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 3】 前記記憶手段は、主メモリであることを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 4】 前記記憶手段は、二次記憶装置であることを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 5】 前記ジョブ情報は、ジョブを実行する際に必要な機能装備情報を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 6】 前記ジョブ情報は、ジョブを実行する際に必要な用紙情報を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 7】 前記ジョブ情報は、前記外部装置で計算されたジョブの予想処理時間を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 8】 前記管理情報は、前記印刷部が具備する機能装備情報を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 9】 前記管理情報は、前記印刷部に残存する用紙枚数などの用紙情報を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 10】 前記管理情報は、前記外部装置で計算されたジョブの予想処理時間を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 11】 前記管理情報は、レベル分けされ管理されている許容値情報を含むことを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 12】 通信媒体を介して外部装置から受信するジョブを解析して印刷部が印刷可能な印刷データを生成する印刷制御装置における印刷制御方法であって、

前記印刷データの生成前に、前記ジョブを特定するためのジョブ情報を前記外部装置から取得する取得工程と、

前記取得工程により取得された前記ジョブ情報と記憶装置に記憶される前記ジョブの実行に伴い変動する前記印刷部の管理情報とに基づき受信すべきジョブの実行に関して問題があるかどうかを予測判定する第 1 の判定工程と、

前記第 1 の判定工程により実行に関して問題ありと予測判定された場合に、予測判定結果に従うメッセージを前記ジョブ情報を取得した前記外部装置に送信する送信工程と、

前記送信工程による前記メッセージの送信後に、前記外部装置からの要求が続行指示かどうかを判定する第 2 の判定工程と、

前記第 2 の判定工程により前記外部装置からの要求が続行指示であると判定した場合に、前記管理情報を更新して前記ジョブを受信するようにジョブ処理を制御するジョブ実行制御工程と、

を有することを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 13】 前記ジョブ実行制御工程は、前記第 2 の判定工程により前記外部装置からの要求が続行指示でないと判定した場合に、前記取得工程により取得された前記ジョブ情報を削除することを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 14】 前記記憶装置は、主メモリであることを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 15】 前記記憶装置は、二次記憶装置であることを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 16】 前記ジョブ情報は、ジョブを実行する際に必要な機能装備情報を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 17】 前記ジョブ情報は、ジョブを実行する際に必要な用紙情報を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 18】 前記ジョブ情報は、前記外部装置で計算されたジョブの予想処理時間を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 19】 前記管理情報は、前記印刷部が具備する機能装備情報を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 20】 前記管理情報は、前記印刷部に残存する用紙枚数などの用紙情報を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 21】 前記管理情報は、前記外部装置で計算されたジョブの予想処理時間を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 22】 前記管理情報は、レベル分けされ管理されている許容値情報を含むことを特徴とする請求項 12 記載の印刷制御方法。

【請求項 23】 請求項 12 乃至 22 のいずれか 1 項に記載の印刷制御方法を実行するプログラムをコンピュータが読み出し可能に格納した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係る第1の発明は、通信媒体（インタフェースケーブル、ネットワーク等を含む）を介して外部装置から受信するジョブを解析して印刷部（図2に示す印刷部12）が印刷可能な印刷データを生成する印刷制御装置であって、前記ジョブの実行に伴い変動する前記印刷部の管理情報を記憶する記憶手段（図2に示すRAM3，ハードディスク9）と、前記印刷データの生成前に、前記ジョブを特定するためのジョブ情報を前記外部装置から取得する取得手段（図2に示す入力部7が受信処理する）と、前記取得手段により取得された前記ジョブ情報と前記管理情報とに基づき受信すべきジョブの実行に関して問題があるかどうかを予測判定する第1の判定手段（図2に示すCPU1がROM2，ハードディスク9等に記憶される制御プログラムを実行して判定処理する）と、前記第1の判定手段により実行に関して問題がありと予測判定された場合に、予測判定結果に従うメッセージを前記ジョブ情報を取得した前記外部装置に送信する送信手段（図2に示す入力部7が送信処理する）と、前記送信手段による前記メッセージの送信後に、前記外部装置からの要求が続行指示かどうかを判定する第2の判定手段（図2に示すCPU1がROM2，ハードディスク9等に記憶される制御プログラムを実行して判定処理する）と、前記第2の判定手段により前記外部装置からの要求が続行指示であると判定した場合に、前記管理情報を更新して前記ジョブを受信するようにジョブ処理を制御する制御手段（図2に示すCPU1がROM2，ハードディスク9等に記憶される制御プログラムを実行して制御する）とを有するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明に係る第12の発明は、通信媒体（インタフェースケーブル、ネットワーク等を含む）を介して外部装置（図2に示す外部装置13）から受信するジョブを解析して印刷部（図2に示す印刷部12）が印刷可能な印刷データを生成する印刷制御装置における印刷制御方法であって、前記印刷データの生成前に、前記ジョブを特定するためのジョブ情報を前記外部装置から取得する取得工程（図5に示すステップS501，図6に示すステップS601，図7に示すステップS701）と、前記取得工程により取得された前記ジョブ情報と記憶装置に記憶される前記ジョブの実行に伴い変動する前記印刷部の管理情報とに基づき受信すべきジョブの実行に関して問題があるかどうかを予測判定する第1の判定工程（図5に示すステップS503，図6に示すステップS603，図7に示すステップS703）と、前記第1の判定工程により実行に関して問題ありと予測判定された場合に、予測判定結果に従うメッセージを前記ジョブ情報を取得した前記外部装置に送信する送信工程（図5に示すステップS504，図6に示すステップS605，図7に示すステップS704）と、前記送信工程による前記メッセージの送信後に、前記外部装置からの要求が続行指示かどうかを判定する第2の判定工程（図5に示すステップS505，図6に示すステップS606，図7に示すステップS705）と、前記第2の判定工程により前記外部装置からの要求が続行指示であると判定した場合に、前記管理情報を更新して前記ジョブを受信するようにジョブ処理を制御するジョブ実行制御工程（図5に示すステップS506，S507，S510，図6に示すステップS607，S608，S612，図7に示すステップS706，S709）とを有するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

本発明に係る第 2 3 の発明は、第 1 2 乃至第 2 2 のいずれかの印刷制御方法を実行するプログラムをコンピュータが読み出し可能に格納した記憶媒体であることを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 8

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 9

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 0

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 1

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 9 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 2

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 0 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 3

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 4

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 5

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 6

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【補正対象項目名】 0 0 3 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】